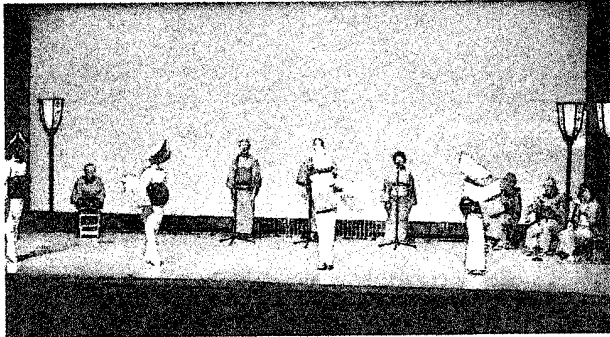


# 「ファール風」 (現場)からの風

宮田守男



地元への金融機関の働きかけで鑑賞できたレベルの高い伝統芸能(おわら)が旅を思い出深くし、参加者を喜ばせる。

5月中旬、年金を受  
け取っている金融機関  
の企画した「信寿会・  
ふれあい親睦の旅・お  
わら風の盆ステージ」と  
北陸新幹線にきわむ  
能登半島の旅」に参加  
する。毎年実施される  
旅行企画の内容が評価  
され、金融機関での年  
金受取者2万人以上の  
対象者から毎年の募集  
が600人。狭き門か  
らの参加者は笑顔その  
ものだ。このふれあ  
いを体験したくて、受  
け取り金融機関を尋ね  
た。「友だちも一緒に  
と誘ったが、すぐ定員  
に達して、友だちと参  
加できな  
かった」  
「評判を聞  
いて参加し  
たが、アッ  
トホームな雰囲気かす  
てきた。来年も  
必ず参加」などの声か  
聞かされてくる。

今回の旅でも、旅行  
先の金融機関の職員  
が、歓迎の横断幕を掲  
げて笑顔を出迎えてく  
れる。宿での出迎えた  
けでなく、朝の見送り  
も。訪れた越中八尾銅  
光会館でも同様に。地  
域と密接に連携した金  
融機関だと、改めて金  
融機関の理念を感じ、  
心温まる。

人員の関係もあり、  
2班編成で日程をすま  
し、8台編成の大型バ  
スに分乗して300人  
での行動。休憩や見  
学、トイレや買い物な  
ど時間を調整してのス  
タッフの対応は感心す  
るばかりだ。

訪れた八尾観光光会  
館、ホールを貸し切っ  
ての「おわら」の鑑賞。  
この踊りは「越中八尾  
おわら風の盆」で、毎  
年9月1日から3日に  
かけて行われ、期間中  
には合計で25万人前後  
の見物客が訪れる日本  
の代表的なお祭りだ。  
舞台では、甲高く響き  
渡る歌声、哀調ある三  
味線と胡弓の音色、涼  
しげなそよ風の浴衣  
に、編笠の間から顔を  
少しのぞかせながら無  
言で踊る優美な姿。幻  
想的な雰囲気  
に、実際の「お  
わら風の盆」  
を見てみたい  
と願わせる。

## 積極的に社会に出掛け、新しい出会いを探してみませんか

日本の旅行のブロー  
カーがわっているのだらう  
か。

2日目の昼食会場  
「味すのすし」メニュー  
「アム」でお土産用に購  
入した「マヌ寿司」、  
せっかくなので購入した  
からと、普設購入する  
金額を上回った「特  
選・ますの寿司」など  
を購入。特級の部位を  
肉厚に使ったマヌのう  
ま味をPRしただけ  
あって、持ち帰ったタ  
食で家族などに大好  
評。お土産を届けた先  
からは「感激したお土  
産は、久しぶりの声。  
買い物の楽しみを再発  
見した気持ちになる。

今回、海の百石と  
言われた加賀の国(石  
川県)の商人、海の豪  
商・銭屋五兵衛記念  
館・銭五の館に立ち寄  
る。時代は江戸時代。  
父から受け継いだ質屋  
や両替商の銭屋。海を

相手に大きな仕事との  
夢を抱き、日本全国で  
活躍した歴史を伝える  
記念館だ。五兵衛一代  
にして約300万両に  
のぼる富を築いたと言  
われ、また歴史的由業  
が解明されないことも  
多い謎めいた人物。大  
きな夢を抱く大切さを  
来館者に訴えているよ  
うな雰囲気だ。

ただ見学に同行した  
現地説明ガイドの対応  
に、旅の楽しさが半減  
してしまう。説明が  
小声で機械的。カ  
イドの歴史への知識は  
人一倍なのだろうが  
聞く側には何を説明し  
ているのか分からな  
い。見学者は抱負の苦  
笑するばかり。

つい記念館のスタッ  
フに感想を伝えると、  
初めて指摘されたよう  
で困った顔。一緒に  
説明を受けた見学者

も「私も分からなかつた。言っても悪いようなので」の声に、記念館スタッフ、しほりハガイドの説明を聞き「ありがたうございます。これから訪れる人に喜んでもうたえよう」との返事。私たち観光の現場でも、訪れる皆さんに情報を伝える場面は多い。観光は、サービス業だと本気で考え、1人1人が喜んでもらえる説明を心掛けていかなければ、考えさせられる旅でもあった。

(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)